

平成 30 年度第 1 回周防大島町行政改革推進委員会会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成 31 年 3 月 25 日（月）10 時 00 分～11 時 00 分
- 2 開催場所 周防大島町役場大島庁舎 2 階庁議室
- 3 出席者

会長 奥川与志人
副会長 中元みどり
委員 岡崎竜一
委員 垣内利勝
委員 杉村佳昭
委員 中原 忍
委員 村田雅典
委員 吉田 寛
(欠席委員 谷満雄・山崎浩一)

町長 椎木 巧
副町長 岡村春雄
総務部長 中村満男
事務局 総務課 課長 岡本義雄
班長 梅木義弘
主査 中野 敬

4 議題の概要

- (1) 第 3 次周防大島町行政改革大綱実施計画における平成 30 年度の取組成果報告について
- (2) 第 3 次周防大島町行政改革大綱実施計画（定員適正化への対応）の変更について
- (3) 組織機構の見直し及びお客様アンケートについて

5 提出資料

- (1) 第 3 次周防大島町行政改革大綱実施計画における平成 30 年度の取組成果報告について・・・資料 1
- (2) 第 3 次周防大島町行政改革大綱実施計画（定員適正化への対応）の変更について・・・資料 2
- (3) 組織機構の見直し及びお客様アンケートについて・・・資料 3

6 会議経過

(会長)

議題1、第3次周防大島町行政改革大綱実施計画における平成30年度の取組成果報告について、及び議題2、第3次周防大島町行政改革大綱実施計画（定員適正化への対応）の変更については関連がありますので一括して事務局から説明を求めます。

(事務局)

議題1、第3次周防大島町行政改革大綱実施計画における平成30年度の取組成果報告について、及び議題2、第3次周防大島町行政改革大綱実施計画（定員適正化への対応）の変更について説明いたします。

－「資料1」「資料2」に基づき説明－

(会長)

ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見ご質問をお願いします。

(委員A)

議題2の定員適正化についてです。さきほど町長さんのあいさつで職員数を減らしたいとの話がありましたが、計画変更案の5人削減では、町長さんとの考えに差があるのではないのでしょうか。どのようにこの計画を策定したのでしょうか。

(事務局)

当初定員適正化については、産業構造等が似かよった類似団体の職員数を考慮し計画を策定しました。5人削減では少ないように感じますが、当町は旧町単位で総合支所を設置したりしているため、どうしても職員もいります。再来年度行革実施計画を見直す時期で、平成33年度から平成37年度の5年間で徐々に職員数を減らす計画を策定できたかと思っております。

(委員B)

今の質問に関連してですが、単純に職員を数十名減らすという考えではだめだと思います。これから周防大島町は人口も減少していきます。職員を単純に減らせば、行政サービスも低下するわけで、地域がどんどん衰退していきます。そういったことを考慮し、職員定数を考えてもらえたらと思います。

それと、収入を上げる努力も必要だと思います。ある市ではごみを再利用し燃料に変えていると聞きました。そういった取り組みも必要と感じました。

(事務局)

昨年度の会議の中で、機構改革における地区の社会教育課生涯学習班の廃止について、サービスの低下になるのではないかと意見をいただきました。当然、単純に職員を数十名減らすというわけにはいかず、必要な部署には職員はいるわけで、その辺りは町長へも伝えていきたいと思います。それと、収入の件ですが、話は少し違いますが、今回大島大橋損傷事故の影響もあり、ふるさと納税の額が増えました。こういった田舎ならでの収入の工夫もあると思います。

(事務局)

職員定数についてです。先ほどからの意見の通り、ただ単純に職員を減らせば、市民の皆さま方に影響があります。職員削減にあたっては、機構改革を考えながら行っていきたいと考えております。

続いて、収入の件ですが、どうしても行革といえ、事業の廃止や経費の削減について考えがちです。さきほどの町長のあいさつの通り、交付税などの税収が減っている現状で、職員には歳入を求めるよう指示は行っております。

(委員C)

実施計画(6)人材育成基本方針の推進の平成28年度の実績数値が取組状況の数値と違うように思います。また、5年前と比べて、数値目標が92のままですが、職員が減ってきている状況において、数値目標は見直さなくてよろしいでしょうか。

(事務局)

申し訳ありません。平成28年度実績数値を97から107へ、達成率を105.43%から116.3%へ数値の修正をお願いいたします。

また数値目標の92数値については平成27年度の実績数値を計画として掲載しております。確かに職員数は減ってきておりますが、人材育成の観点からすれば、職員が減ったから、それにあわせて計画人数を減らすというのは適当ではなく、計画通りで進めてまいりたいと思います。

(会長)

他に意見はありませんか？

(会長)

それでは、第3次周防大島町行政改革大綱実施計画の定員適正化への対応について、案のとおり計画を変更するということによろしいでしょうか。

－委員了承－

(会長)

次に、議題3、組織機構の見直し及びお客様アンケートについて事務局から説明を求めます。

(事務局)

議題3、組織機構の見直し及びお客様アンケートについて説明いたします。

－「資料3」に基づき説明－

(会長)

ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見ご質問をお願いします。

(委員C)

接遇のアンケート結果が昨年度に比べて0.35ポイント下がったという説明でし

たが、具体的にどの項目が悪かったのですか。

(事務局)

身だしなみが0.4ポイントの減、あいさつが0.38ポイントの減、言葉づかいが0.4ポイントの減と3つが主な要因となっております。

(委員B)

職員には掲示板で周知をしているということですが、課長など管理職から指導していただいた方がいいのではないのでしょうか。

(事務局)

確かに、住民と接する機会の多い職員の上司である、課長から指導していただく改善がはかれるように思います。

(委員A)

私どもサービス業ですが、このあいさつがなかなか直らない職員がおります。習慣になっているので、何度も注意する必要があると思います。私が前いた部署では支店長が各店を回ってチェックしておりました。

(委員D)

アンケート調査期間を職員に予め周知すると、その期間だけがんばるかもしれないので、周知しない方がいいのではないのでしょうか。私の職場でもアンケート調査を行っておりますが、職員名の記載があれば、その職員にアンケート調査を見せて指導しております。

(委員B)

接客については、職員の性格もあるように思います。

(委員E)

同じく接客についてですが、窓口に行っても目と目を合わさなくて物を言う職員がおります。気をつけてほしいです。

(会長)

他に意見はありませんか？

(委員B)

最後に一言いいでしょうか。高齢者の方が私の家に申請書類の書き方を尋ねにくることがあります。役場の書類は申請書類が多いので、困っている人に手を差し伸べるべきではないのでしょうか。また、定住者を増やす政策を行っておりますが、ここに住んでいる人が実際に幸せに感じないと意味がないのではないのでしょうか。周防大島に住んでよかったと思えるような取り組みをお願いします。

(会長)

他に意見はありませんか？

(会長)

長時間にわたる熱心なご審議ありがとうございました。以上で平成 30 年度の第 1 回
行政改革推進委員会を閉じます。